

# 平成28年（2016）4月 入域観光客数概況

4月の観光客数は、68万1,500人  
対前年（H27）同月比 +4万6,100人、+7.3%  
～4月の過去最高を更新、各月の過去最高を30ヶ月連続更新～

## 入域状況

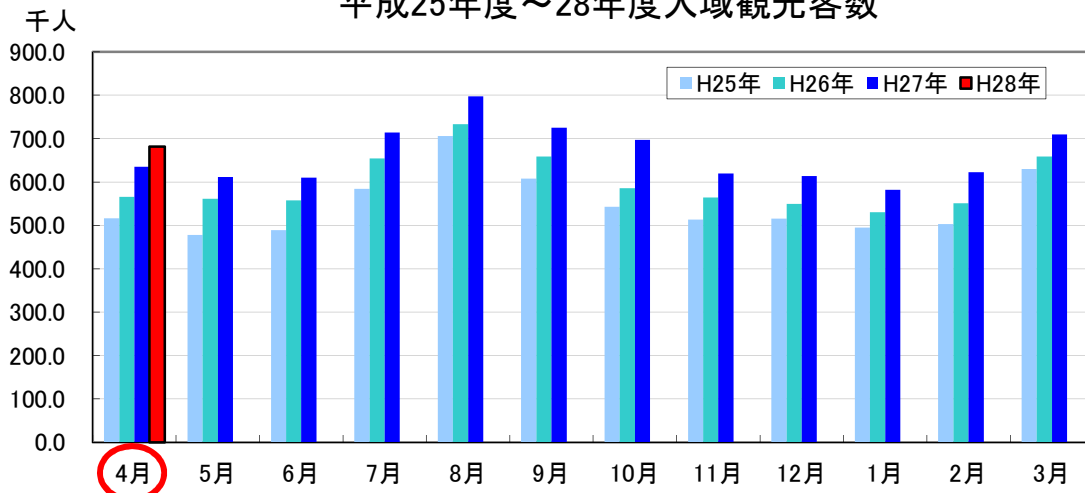
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	519,300 人	504,800 人	+ 14,500人	+ 2.9%	76.2%
外国客	162,200 人	130,600 人	+ 31,600人	+ 24.2%	23.8%
合計	681,500 人	635,400 人	+ 46,100人	+ 7.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	519,300 人	504,800 人	+ 14,500人	+ 2.9%	78.7%
外国客	140,400 人	111,200 人	+ 29,200人	+ 26.3%	21.3%
合計	659,700 人	616,000 人	+ 43,700人	+ 7.1%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



## 国内客 入域状況

4月は、ゴールデンウィーク前半の旅行需要があったことや、3月末からの羽田及び関西－宮古路線の就航等により、東京及び関西方面を中心に入込が好調に推移し、前年を上回った。  
5月以降は、離島方面や個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

## 外国客 入域状況

4月は、3月末からの台湾及び中国における航空路線の拡充や、厦門及び広州発を含むクルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。  
5月は、韓国1社の定期便及び中国・瀋陽－那覇路線の年間チャーターを含む航空路線の拡充の動きがあることや、クルーズ船の寄港回数の大幅な増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。また、タイ・バンコク－那覇間のチャーター等が実施されることなどから、今後、新たな市場からの誘客効果も期待できる。

## 国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	246,000 人	236,900 人	+ 9,100人	+ 3.8%	47.4%
関西方面	114,300 人	111,400 人	+ 2,900人	+ 2.6%	22.0%
福岡方面	61,100 人	60,300 人	+ 800人	+ 1.3%	11.8%
名古屋	41,800 人	41,900 人	△ 100人	△ 0.2%	8.0%
その他	56,100 人	54,300 人	+ 1,800人	+ 3.3%	10.8%
合計	519,300 人	504,800 人	+ 14,500人	+ 2.9%	100.0%

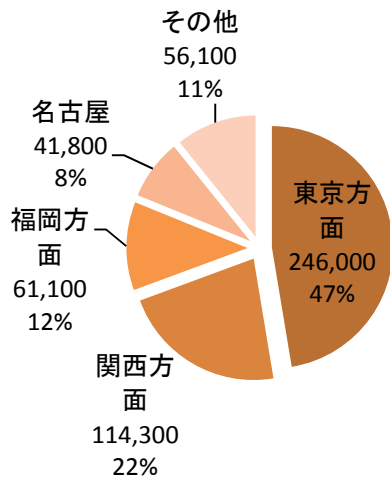
※国内海路客3,200人を含む(鹿児島1,900人、神戸800人、横浜400人、関西100人)

## 外国客 国籍別入域状況

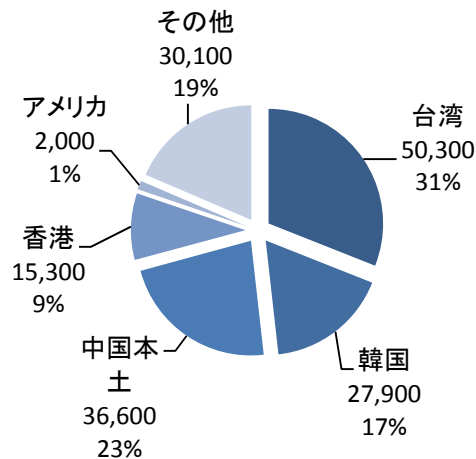
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	50,300 人	50,300 人	45,600 人	+ 4,700人	+10.3%	31.0%
韓国	27,900 人	27,900 人	20,600 人	+ 7,300人	+35.4%	17.2%
中国本土	36,600 人	36,600 人	22,200 人	+ 14,400人	+64.9%	22.6%
香港	15,300 人	15,300 人	14,700 人	+ 600人	+4.1%	9.4%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,100 人	+ 900人	+81.8%	1.2%
その他	30,100 人	8,300 人	26,400 人	+ 3,700人	+14.0%	18.6%
合計	162,200 人	140,400 人	130,600 人	+ 31,600人	+24.2%	100.0%

### 国内客の地域構成比



### 外国客の国籍構成比



## 外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	36,400 人	36,400 人	+37.4%	34.5%	13,900 人	13,900 人	△27.2%	24.5%
韓国	27,900 人	27,900 人	+35.4%	26.5%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	20,200 人	20,200 人	+32.0%	19.2%	16,400 人	16,400 人	+137.7%	28.9%
香港	14,400 人	14,400 人	△0.7%	13.7%	900 人	900 人	+350.0%	1.6%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+60.0%	1.5%	400 人	400 人	+300.0%	0.7%
その他	4,900 人	4,900 人	+11.4%	4.6%	25,200 人	3,400 人	+14.5%	44.4%
合計	105,400 人	105,400 人	+28.1%	100.0%	56,800 人	35,000 人	+17.6%	100.0%

## 各方面ごとの概況と見通し

### 東京

4月は、3月末からのANAの羽田－宮古路線の就航やLCC2社の増便等による入込が増加したこと、各旅行会社の販売状況が良好だったこと等から、前年を上回った。  
5月以降は、他方面との競合が懸念されるものの、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

### 大阪

4月は、3月末からのANAの関西－宮古路線の運航再開や、ゴールデンウィークの入込が好調だったこと等から、前年を上回った。  
5月以降は、各航空会社で離島方面を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

### 福岡

4月は、中旬の熊本地震の影響により、一部の団体旅行等のキャンセルがあったものの、各航空会社による福岡－那覇路線の拡充等があったこと等から、前年を上回った。  
5月は、一部において、引き続き、地震の影響による旅行自粛の動き等が見られるものの、今後は、各旅行会社及び航空会社による商品造成の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

### 名古屋

4月は、各旅行会社の販売状況は、個人旅行を中心に堅調に推移したものの、団体旅行が伸び悩んだこと等から、全体としては前年並みであった。  
5月は、ゴールデンウィークの日並びの影響や、他方面との競合が懸念されるものの、6月以降は個人・団体旅行ともに予約状況が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

### 台湾

4月は、3月末からの中華航空の台北－石垣路線の季節運航再開や各航空会社の航空路線の拡充により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。  
5月は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定があること、各旅行会社及び航空会社による商品造成の取り組み強化の動きがあること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

### 韓国

4月は、3月末からの釜山－那覇路線の減便による影響が懸念されたものの、イースター航空のソウル－那覇路線の増便や、各航空会社及び旅行会社による旅行商品販売の取り組み強化があったこと等により、空路客を中心に前年を上回った。  
5月は、大韓航空のソウル－那覇路線の新規就航やジンエアーの釜山－那覇路線が運行再開したこと等から、引き続き、空路客を中心に好調に推移する見込み。

### 中国本土・北京

4月は、3月末からの中国国際航空の北京－那覇路線の増便や、天津－那覇路線が好調を維持していたこと等から、空路客を中心に増加し、前年を上回った。  
5月は、個人・団体旅行ともに予約状況が良好なことや、首都航空による瀋陽－那覇路線の年間チャーター就航を含む航空路線の拡充があること等から、順調に増加する見込み。

### 中国本土・上海

4月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、厦門及び広州発を含むクルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。  
5月は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が好調なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充、厦門及び広州発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

### 香港

4月は、清明節による旅行需要や、香港発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。  
5月以降は、個人・団体旅行ともに予約状況が好調なことや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、海路客を中心に好調に推移する見込み。